

渡 島 の 研 究 活 動

研修部長 八雲町立落部小学校
校長 岩 崎 透

1. はじめに

渡島小中学校長会は、昨年度から研究主題「未来に向かって 心豊かにたくましく生きる子どもを育てる渡島小中学校教育の推進」とし、第14期3か年継続研究を開始した。これは、子どもたち一人一人に未来を切り拓いていけるよう豊かな人間性と社会性を身に付けさせ、自立的に生きていくための基礎を培うことが重要であると考えたからである。



2. 研究計画

(1) 研究主題

未来に向かって 心豊かにたくましく生きる子どもを育てる渡島小中学校教育の推進
～ふるさとを愛する心、新しい社会に生きる確かな学びを育む学校経営～

(2) 研究の方針

- ① 校長の指導性を発揮すべき内容や課題に関して、実践的・実証的で、前向きな研究推進をする。
- ② 各関係機関や団体との間で連携を確立していくことができる発展的な研究とする。
- ③ 効果的な研究推進を保障し、持続させ、積み上げ、評価する研究とする。
- ④ 経営者としての説明責任を果たす校長となるよう、自己研鑽に努める。
- ⑤ 新しい学校の創造に向け、経営・対策・情報の各部との連携を図り、研究の実践に努める。

(3) 研究の方法

- ① 研究期間は、平成25年度から27年度までの3か年研究とする。
- ② 年次研究のねらい
 - 《1年次》研究課題に関する理論研究
自校における課題把握
 - 《2年次》ブロック研究の充実
 - 《3年次》成果の確認と検証

3. 研究の概要、研究活動

(1) 研修部通信の発行

研究推進のための「手引き」として、1学期に研修部通信を発行し、全会員に配布する。

(2) ブロック研究及び研究分担

渡島小中学校長会の研究は、四つの研究課題を設定して研究を推進する。研修部は「教

育の今日的な課題」の解明を、管内の3つのブロックは「学校経営」の各分野を受け持ち、3か年ブロックを固定し、組織的、計画的に研究を推進する。

(3) 第38回渡島小中学校長会研究大会の開催

- ① 期日 平成26年11月8日(土)
- ② 会場 ロワジュールホテル函館(函館市若松町14-10)
- ③ 日程 開会式 講演 研修部全体提言(道小報告)
課題別3分科会 講評 閉会式
- ④ 講演 演題 「人に嫌われる勇気と自信を持って」
講師 東川町教育総合振興スーパーバイザー
三宅 良昌 氏
- ⑥ 研修部全体提言
 - 研究課題 教育改革を進める学校づくりと評価における校長の在り方
 - 研究テーマ 教職員の意識改革に向けた学校評価と校長の在り方
 - 提言者 北斗市立茂辺地小学校長 岩間 唯史
- ⑦ 課題別分科会
 - ◎第1分科会
 - 研究課題 「学校経営に関する研究」
 - 研究内容 創意と活力に満ちた学校経営ビジョンと校長の在り方
 - 研究協議の柱 学校経営ビジョンを校長としてどのように構想するか。
 - 提言者 知内町立知内中学校長 檜山 聡
 - ◎第2分科会
 - 研究課題 「教育課程に関する研究」
 - 研究内容 確かな学力を育む教育課程の編成と校長の在り方
 - 研究協議の柱 教育課程の工夫改善に向けて、校長としてどのように関わるのか。
 - 提言者 北斗市立沖川小学校長 長内 克磨
 - ◎第3分科会
 - 研究課題 「指導・育成に関する研究」
 - 研究内容 教職員の資質能力を高める研修・人材育成と校長の関わり
 - 研究協議の柱 教職員の資質能力を高めるために、校長としてどのように関わるのか。
 - 提言者 長万部長立静狩小学校長 三浦 哲也

4. おわりに

本校長会では、ブロック研究と研修部研究が2本の大きな柱となっている。ブロック研究は、第14期3か年継続研究の2年次目として、課題解決のための校長としての方略を提示し合い、主題解明に向け組織的・計画的に研究を推進した。研修部研究では、今年度行われた道小研日高大会の評価・改善の分科会で、教育改革を進める学校づくりと評価における校長の在り方に関する提言において、渡島管内各小学校における実践の調査を基に、教職員の意識改革に向けた学校評価と校長が果たすべき役割と指導性を究明した。

来年度は3年次目として、各ブロックで「学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の在り方」「命を守る安全教育の推進と校長の在り方」「教職員の意識改革と協働性の向上と校長の関わり」について具体的に研究を推進していく予定である。